

2023(令和5)年12月18日

報道関係者 各位

松山大学  
(全4枚送信)

市民と学生とともに、「海運王国」愛媛で地元の将来を見据える  
松山港の利用促進について考える  
海事経済論 公開講義 開催

12月20日(水) 12時30分より 本学樋又キャンパスにて

松山大学では、愛媛県における海の玄関口・松山港の利用促進について、愛媛県経済労働部産業雇用局産業政策課 主幹 好岡 浩二(よしおか こうじ)氏をお招きし、公開講義を開催いたします。

この講義は本学経済学部が主催となり、一般社団法人日本船主協会のご協力のもとM汽船寄附講座「海事経済論」公開講座として開講しているもので、国際物流を担う造船業や海運業の集積地域である愛媛において、国際貿易を支える海運産業の実態と将来について理解を深めてきました。今年で開講 15 周年を迎える本講座は、本学学生だけでなく、一般の方にも受講いただける無料公開講座として、これまでに地域の方々506名にご参加いただいております。2023年度は9月27日から2024年1月24日までの15回にわたり開講しています。

第13回目となる今回は、視点を国際貿易から身近な松山港へと移し、より身近な海事経済の現状と今後の展望についてお話しいただきます。学生と地域の皆さまがともに地域経済について考える貴重な機会となります。ぜひ、ご取材ください。

### 2023年度 M 汽船寄附講座(公開講義) 海事経済論 第13回

日時：2023年12月20日(水) 12時30分～14時00分

会場：松山大学 樋又キャンパス 2階 H2A 教室

題目：「松山港の利用促進について」

論者：愛媛県経済労働部産業雇用局 産業政策課 主幹 好岡 浩二(よしおか こうじ)氏

参加者：経済学部学生・一般の方

主催：松山大学経済学部

協力：一般社団法人日本船主協会

### 愛媛県経済労働部産業雇用局 産業政策課 主幹 好岡 浩二(よしおか こうじ)氏 コメント

本講義では、グローバル経済を支える物流の大動脈である海上輸送と陸上輸送の結節点となる「港湾」の位置付けや役割、港湾を取り巻く国際的な潮流などを紐解きながら、松山市の海の玄関口である「松山港」における貿易の現状や、利用促進に向けたハード・ソフト両面での官民一体となった取組みなどについてお話しします。

本講義を通じて、皆さんの生活を支える重要インフラである港湾をより身近に感じていただき、卒業後の将来を考える中で、その選択の幅を広げる一助になれば幸いです。



【このリリースについてのお問い合わせ】  
松山大学教務課(経済学部担当) TEL:089-926-7137

キャンパスマップ



第15回

# 海事経済論

愛媛は、国際物流を担う造船業や海運業の集積地域です。  
この「海運王国」愛媛で、国際貿易を支える  
海運産業の実態と将来について理解を深めていただくことを目的に、  
M汽船寄附講座「海事経済論」を開講します。  
奮ってご参加ください。



## 世界経済を担う 愛媛の海運産業

開講期間

2023年9月27日(水) ▶ 2024年1月24日(水)  
※毎週水曜日 12:30~14:00(3時限目)

時間

松山大学 樋又キャンパス 2階 H2A教室  
※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

受講料

無料

定員

100名(先着順)

主催:松山大学経済学部

協力:(一社)日本船主協会

問い合わせ先

松山大学教務部教務課 Tel.089-926-7137  
E-mail:mu-kyomu@matsuyama-u.jp

※詳細は裏面をご参照ください。

# 講義日程 及び 受講申込書

## 講義日程

会場 松山大学 樋又キャンパス2階 H2A教室 時間 毎週水曜日3時限目12:30～14:00

回	講義日	講義テーマ	担当者
1	9/27(水)	造船業と国際海運業—産業連関分析の視点—	松山大学 経済学部教授 安田 俊一
2	10/ 4(水)	外航海運の概要	一般社団法人日本船主協会 企画部広報室長 兼 国際担当部長 伊藤 正幸 氏※
3	10/11(水)	日本の国際海運業	日本郵船株式会社 調査グループ グループ長 林 光一郎 氏※
4	10/18(水)	愛媛の国際海運業の発達と現状	株式会社愛媛銀行 (株式会社西瀬戸マリナートナース 代表取締役 社長) 日野 満 氏
5	10/25(水)	タンカー:エネルギーの主力「石油」の国際物流(その1)—原油輸送を中心に	太陽石油株式会社 国際営業部長 由井 直之 氏
6	11/ 1(水)	タンカー:エネルギーの主力「石油」の国際物流(その2)—その多様性について	株式会社商船三井 タンカー・オフショア事業部第一ユニット統括チームリーダー 玉田 裕記 氏※
7	11/ 8(水)	LNG船:「液化天然ガス」の国際物流	株式会社商船三井 エネルギー営業戦略部 調査チームリーダー 中村 恵美子 氏※
8	11/15(水)	大型バルク・キャリア:「鉄鉱石・石炭・穀物」の貿易と国際物流	日本郵船株式会社 バルク・エネルギー事業統括グループ グループ長 江原 出 氏※
9	11/22(水)	自動車専用船事業の歴史と今日の概況	川崎汽船株式会社 自動車船安全輸送グループ 運航総務チーム チーム長 市川 正光 氏※
10	11/29(水)	コンテナ船事業概論とこれからの展開	川崎汽船株式会社 コンテナ船事業グループ 資産管理チーム チーム長 小澤 良 氏※
11	12/ 6(水)	世界の中の日本・愛媛の造船業	株式会社新来島どつく 船舶営業本部 新造船営業第2部長 松浦 直樹 氏
12	12/13(水)	国際物流における総合商社	三井物産株式会社 モビリティ第二本部 輸送機械第一部長 濱田 昭仁 氏
13	12/20(水)	松山港の利用促進について	愛媛県経済労働部産業雇用局 産業政策課 主幹 好岡 浩二 氏
14	1/10(水)	海運業とリスクマネジメント	東京海上日動火災保険株式会社 西日本船舶営業部長 朝来野 敦 氏
15	1/24(水)	世界経済のグローバル化とアジア及び日本	松山大学 経営学部教授 上羽 博人 松山大学 経済学部教授 安田 俊一

○※の担当者については(一社)日本船主協会のご協力を得ています。

○ 講義テーマ及び担当者については、変更となる場合があります。

## 申し込み方法

1

### メールでの申し込み

件名に「海事経済論受講申込」、本文に受講申込書の内容を入力の上、右記のアドレスに送信

E-mail : [mu-kyomu@matsuyama-u.jp](mailto:mu-kyomu@matsuyama-u.jp)

2

### Faxでの申し込み

受講申込書を記入の上、右記の番号に送信

Fax.089-923-8920

## 受講申込書 (メール・Fax 共通) ※以下の全ての項目に必ずご記入ください。

年 月 日

(フリガナ) 氏 名			
住 所	〒 -		
T E L		携帯電話	
E-mail	@		
勤務先等 (学校名)			

ご記入いただいた個人情報は、各種連絡・情報提供のために利用するほか、講座参加者のご意見を伺うために利用することがあります。

(注) 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、講義形態の変更を行う場合があります。変更となった場合は、メールにてご連絡をさせていただきます。また、感染予防の為にマスクの着用を宜しくお願いします。